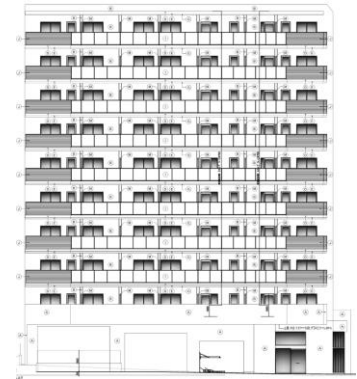


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野8丁目計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	相模原市南区相模大野八丁目804番7外	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	180人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年10月4日
敷地面積	593㎡	作成者	有限会社ノアプランニング一級建築士事務所
建築面積	338㎡	確認日	2024年10月4日
延床面積	2,503㎡	確認者	有限会社ノアプランニング一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 89% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ性能をZEH-M Orientedレベルとし、シックハウス、高速光通信、環境に配慮した断熱材等の配慮をした共同住宅を計画している	その他 特になし
Q1 室内環境	住宅部分について、断熱等性能等級5としている。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化にて外構及び周辺環境に配慮している
LR1 エネルギー	断熱等性能等級5、BEI=0.76としている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率を参照値の89%としている。
Q2 サービス性能	空調・給排水配管の更新対策に配慮した設計としている。	
LR2 資源・マテリアル	LGS下地を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される